

令和3年度 小野公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

- ① 地域の方々が心身共に健康で生き生きとした生活が送れるよう、体力の向上や維持、楽しみや生きがいがいづくりにつながる講座や講演会、講習会等を企画します。
- ② 公民館を拠点として活動する団体が目指す目標・目的を達成できるよう自立したグループとして体制づくりができるよう支援します。
- ③ 地域づくりを支援し、関係機関、団体等との連携を深め、地域連帯意識の醸成と郷土を愛する心の啓発に努めます。

(2) 重点施策

- ① 公民館講座の工夫改善
- ② 生涯スポーツの振興
- ③ 時代が変化している状況下で、地域として今必要な事業は何なのかを洗い出し、地域内諸団体と連携した地域主体の活動が活発化するよう支援します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
成人	高齢者学級	書道教室	4月	12人	1回	主催
	物づくり講座	革工芸教室	4月	8人	1回	主催
		クラフトでイチゴの小物入れ作り	7月	16人	2回	主催
	食育	味噌作り教室	4月	8人	1回	主催
	園芸	多肉植物寄せ植え	6月	12人	1回	主催
	健康	スローエアロビックスストレッチ教室	7～12月	65人	6回	主催
		リフレッシュヨガ教室	4～11月	60人	5回	主催
	芸能	歌声喫茶	11～1月	45人	3回	主催
	健康	アロマテラピーを学び マイスプレーを作ろう	11月	8人	1回	主催
ライフプラン健康講座		11月	15人	1回	主催	
地域住民	情報提供	公民館報等配布	4～3月	全戸	12回	主催

3 主な事業紹介

(1) 事業名：健康 講座名：スローエアロビックスストレッチ

①ねらい

コロナ禍の2年間が経過している中、家にこもり体を動かすことが自粛される中で、住民の要望を聞き、マスク着用でも運動できるよう地元講師へ工夫を依頼し、仕事帰

りの働き盛りの人を対象に新規開講しました。

②事業内容

30代から70代までが集結し、感染対策を講じ一定の間隔をとりスローテンポなエアロビクスとして音楽にあわせて動き、最初と最後は自分の体の柔軟性に合わせスローな動きで呼吸を整えます。

(2) まとめ

コロナ禍での講座開催のため、人数制限を設定しています。新型コロナウイルスの警戒度にあわせ開講、休止、再開を検討しなければならない時代です。幅広い年齢層の方にご参加いただき好評を博しました。近隣の公民館と合同で、学校体育館等を借りる等、広い会場を設けることで開催することも検討したいと考えています。

(3) その他

革工芸や書道、多肉植物、クラフト作り等の文化講座、物づくり講座では文化祭への出品を目指し例年作品づくりに取り組んでいます。3年続けて新型コロナウイルス感染症の影響により文化祭が中止となり、成果を披露することができていない状況のため、主催教室、自主教室共に公民館だよりの紙面上で活動の成果を掲載（紹介）する等、教室生に対し声をかけさせていただいています。

講師が演奏する電子ピアノの生演奏に合わせて歌う歌声喫茶教室も大変好評です。コロナ対策ガイドラインに基づきマスクとフェイスシールド両方の着用が必須となっていますが、常に喚起をし、一方向を向いて発声する等、感染症対策を強化しつつ、休憩の間に飲食が不可能なことから、お楽しみ用のペットボトルとお菓子は持ち帰りの方法をとらざるをえません。「喫茶」は当面の間実施は難しいですが、「耳で聞いて目で見て声を出すというのはとても楽しい」と感想をいただきます。



4 今年度のまとめ（反省と課題）

公民館の教室は全体的に受講生の固定化や年齢の偏りという課題等もありますが、地域住民、利用者の声も参考にしつつ幅をもった年齢階層の方が参加したいと思えるような教室を企画していきたいと思えます。特に高齢者がスマホ等で情報を得る手段の習得や多世代が交流しながらの健康維持、文化に親しみ物作りの楽しさを知ること重点を置きます。

